

# はじめに

## 歴史 自然 文化のまち

### ～ [佐倉] への思いをかたちに～



佐倉市は、人口減少や少子高齢化の進展など、直面する諸課題を乗り越え、「歴史 自然 文化」というこれまで大切に積み重ねてきた資源を、次の世代に誇りをもって引き継ぐため、平成 23 年度を初年度とする第 4 次佐倉市総合計画を策定し、全ての人に優しく、活力あるまちづくりを目指した取組を行ってまいりました。

前期基本計画期間〔平成 23 年度～平成 27 年度〕におきましては、福祉、子育て、環境、防災、教育、産業振興、都市基盤整備、市民協働など広範囲にわたる施策を計画的かつ効率的に行った結果、「佐倉市に住み続けたいと思う市民の割合」が増加しており、市民の皆様にも一定のご評価をいただいたものと考えております。

しかしながら、本市を取り巻く社会情勢は刻一刻と変化し続け、前期基本計画期間は、価値観やニーズの多様化が進展し、新たな課題が浮き彫りとなった期間でもありました。人口減少・少子高齢化への対応、東日本大震災を教訓とした「自助」、「互助」、「共助」、「公助」による複合的な防災対策、本市の特性を活かした住宅・住環境の整備、今後大量に更新時期を迎える公共施設等の老朽化対策、持続可能な財政基盤の強化など、取り込むべき課題は山積しております。

そのような中、後期基本計画〔平成 28 年度～平成 31 年度〕では、他の主要課題と密接な関係を持ち、様々な課題解決の糸口にもなり得る「人口減少、少子高齢化への対応」を重点施策として位置付け、その積極的な推進を図ってまいります。そして、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるとともに、「佐倉市に住み続けたい」、「佐倉市に住んでみたい」、「佐倉市を訪れてみたい」と思われる愛着と誇りのもてる魅力的なまちづくりを進めてまいります。

最後に、この計画の策定にあたりご尽力をいただきました佐倉市総合計画審議会委員の方々や、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さまに、厚く御礼申し上げます。計画の実現に向けて、市民、議会、行政が手を携えてまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月 佐倉市長 藤 和 雄

# 目次

<b>I 序論</b>	<b>1</b>
<b>1 計画策定に当たって</b>	<b>3</b>
(1) 総合計画の目的	3
(2) 総合計画の構成	4
<b>2 計画をめぐる背景</b>	<b>7</b>
(1) 佐倉市の概況	7
(2) 佐倉市の主要課題	18
(3) 今後の見通し	22
<b>II 分野別計画</b>	<b>25</b>
<b>1 計画の体系</b>	<b>27</b>
<b>2 重点施策</b>	<b>28</b>
(1) 課題解決に向けた取組	28
(2) 重点施策のねらい	29
(3) 重点施策の内容	32
<b>3 基本施策の展開</b>	<b>40</b>
第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり	40
第2章 快適で、安全・安心なまちづくり	54
第3章 心豊かな人づくり、まちづくり	62
第4章 明日へつながるまちづくり	78
第5章 住環境が整備された住みやすいまちづくり	89
第6章 ともに生き、支え合うまちづくり	98
<b>III 資料編</b>	<b>115</b>
用語解説	117
第4次佐倉市総合計画後期基本計画策定経緯	128
佐倉市総合計画について（諮問）	129
佐倉市総合計画審議会答申書	130
計画を推進するための個別計画一覧	131